

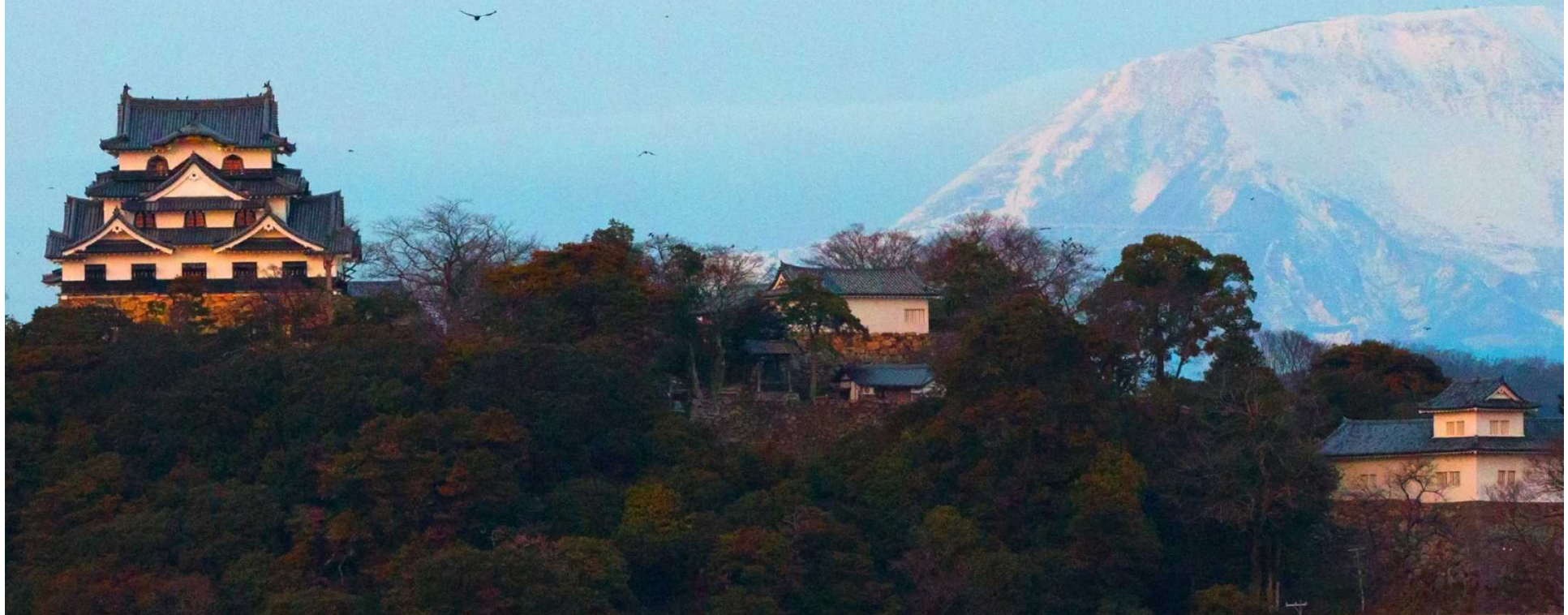
歴史と伝統を活かしたまちづくり

世界
遺産

未来へ残そう！
彦根城を世界遺産に！



彦根市
Hikone City



彦根市の概要

彦根市は、日本列島のほぼ中央に位置し、琵琶湖と鈴鹿山系など豊富な自然に囲まれ、江戸時代には彦根藩35万石の城下町として歩みを始め、現在に至るまで歴史的、文化的な風情とともに、中世から近世にかけての貴重な歴史遺産が、今なお数多く残っています。



- ◎面積 196.87 km² (うち琵琶湖部分98.59 km²)
- ◎人口 112,724人
- ◎世帯 45,911世帯 (H27年10月31日現在)



【彦根仏壇】



【彦根バルブ】

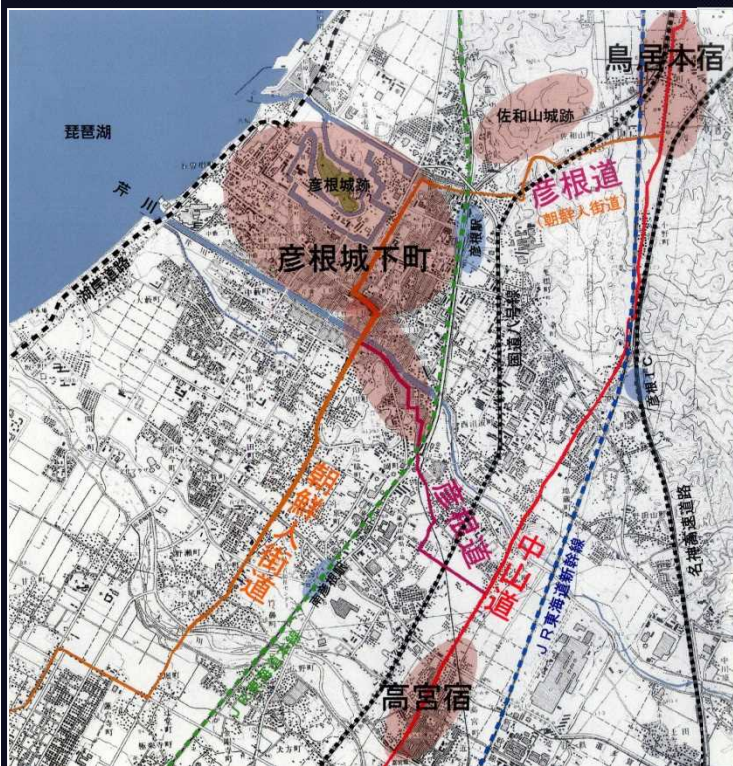


【彦根ファンデーション】



彦根市キャラクター【ひこにゃん】

彦根市の歴史と文化



城下町周辺の地図



「名勝玄宮楽々園」から望む「国宝彦根城」

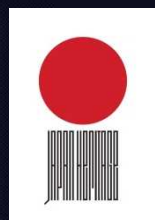


昭和27年（1952年）に国宝に指定されている彦根城天守は、江戸幕府の重鎮、井伊家の居城であり、250年余りに亘って平和を維持した武家政権の拠点のひとつです。

「武威の象徴」である天守や櫓だけでなく、「権威を演出する舞台」であった御殿や、広大な大名庭園が現存・復元されており、近世城郭の骨格をなす歴史遺産が今日まで伝わっています。



名勝旧彦根藩松原下屋敷（お浜御殿）庭園



【日本遺産】



城下町のまちなみ



宿場のまちなみ（鳥居本宿）

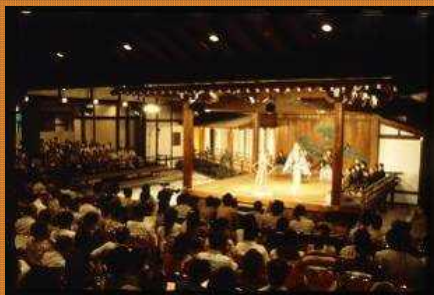
維持向上すべき歴史的風致

彦根市歴史的風致維持向上計画

認定日：平成21年1月19日

認定期間：平成20年度～平成29年度

(1) 大名文化の継承



■ 現代に生きる能と狂言の継承



■ 「茶の湯」の伝統



■ 堀の利用「御好屋形船」の運航

(2) 城下町の伝統



■ 「時報鐘」の音風景



■ 城下町に息づく社寺信仰



■ 伝統工芸の「彦根仏壇」

(3) 中山道と宿場町



■ 高宮宿と高宮まつり・高宮布



■ 高宮宿「多賀大社一の鳥居」



■ 鳥居本宿の合羽・赤玉神教丸

(4) 山と信仰



■ 荒神山・荒神山古墳



■ 稲村神社「太鼓登山」



■ 荒神山神社「水無月祭」

歴史まちづくりの範囲(重点区域)

◆基本方針

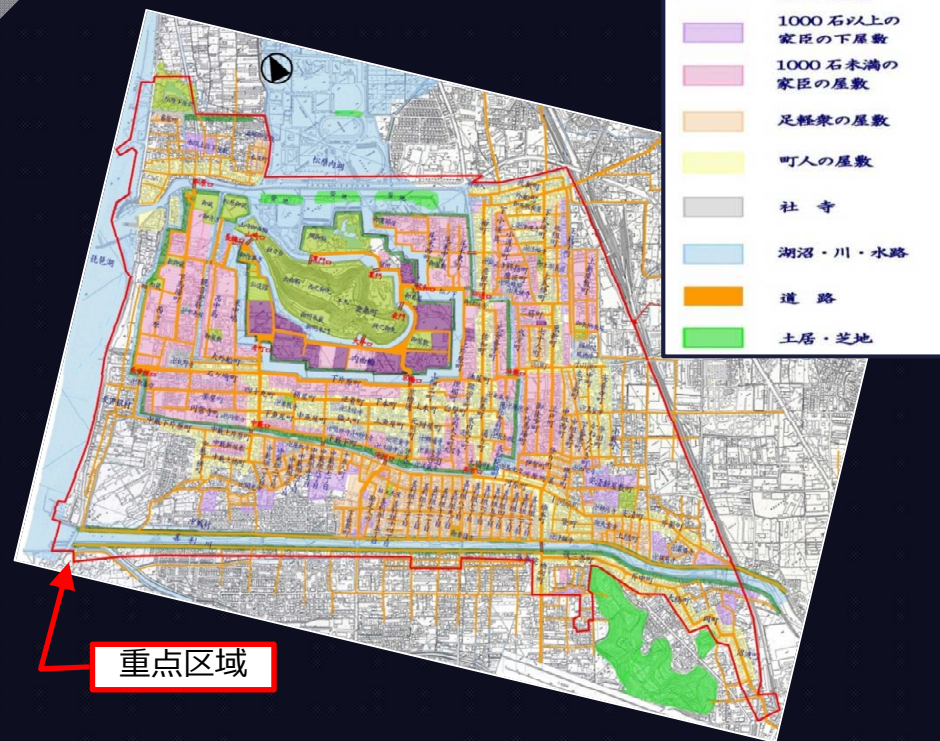
- (1) 彦根固有の歴史や風土に根付き、世代をつなぎ人々により伝承されてきた祭礼、伝統行事、伝統芸能および彦根仏壇などの伝統工芸・伝統技術を将来へ確実に継承し、もって地域の文化および産業の振興を図る。
- (2) 彦根の歴史と伝統を継承している文化財や歴史的なまちなみなど歴史的景観を積極的に保存し、これらを活用した風情、たたずまいを有する市街地環境の整備、生活環境の改善を図り、もって都市の健全な発展を図る。
- (3) 市民と行政の協働により、文化財施設の管理や歴史文化を反映した行祭事・イベントなど歴史的風致を維持し向上させるための活動を促進し、もって、彦根に住むことが誇れるような個性と魅力あるまちづくりを推進する。

江戸時代



御城下惣絵図：天保7年(1836年)

現在



重点区域

江戸時代の町割と現在のまちなみの変化

重点区域内の伝統行事(千代神社の春祭り)



重点区域内の伝統行事(ひこね万灯流し)



重点区域内の伝統行事(ひこね城祭り)



体験と学び



彦根ボランティアガイドによる解説



彦根城お堀めぐり



歴史まちづくりの取り組み (歴史的風致形成建造物の保存と活用)

辻番所・足軽組屋敷



保存修理



【修理後の内部】



【地域の講座で活用】



【地域のまちづくり活動の拠点】



旧池田屋敷長屋門



保存修理

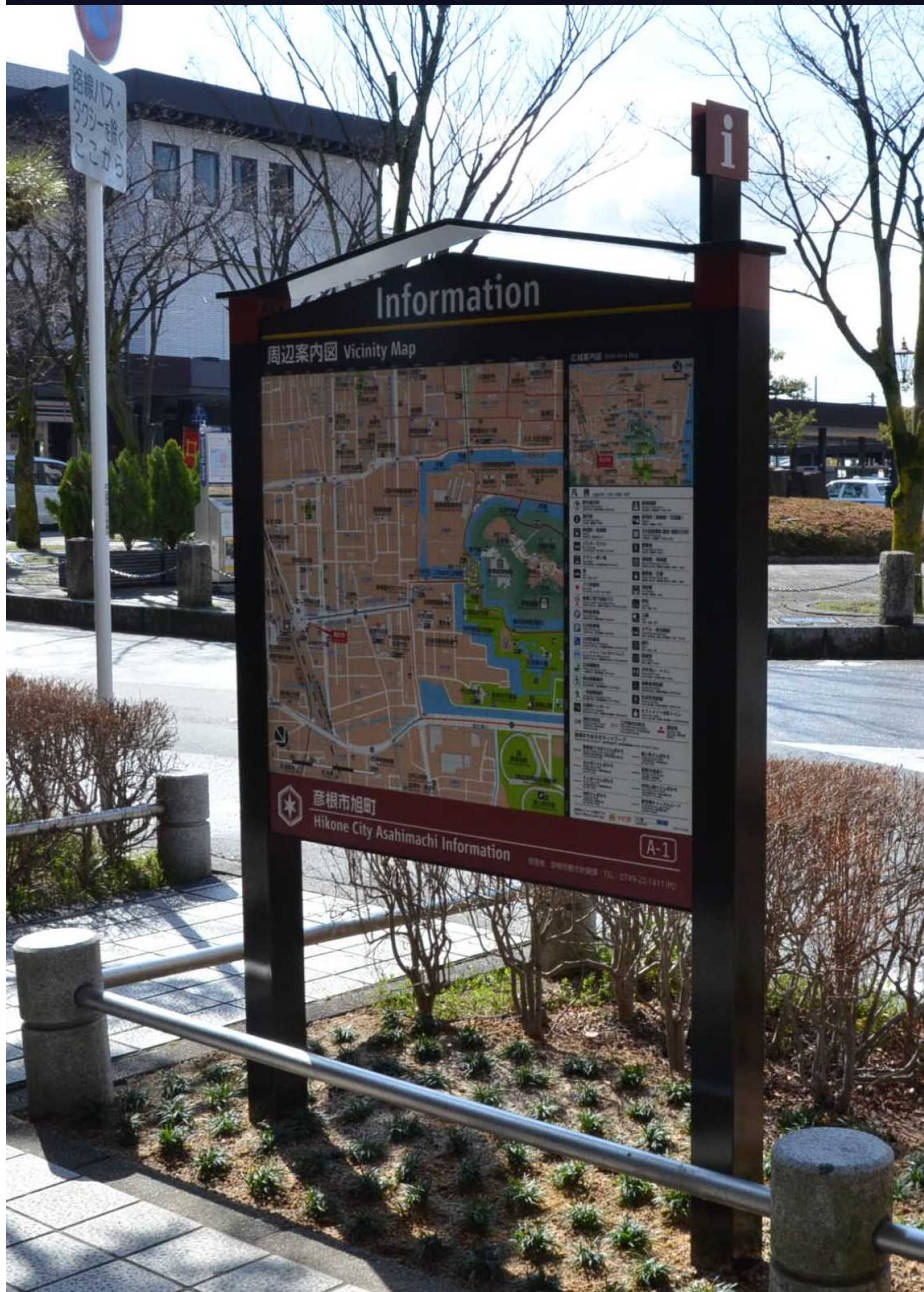
【修理状況の説明会】

【修理後の内部】

【復元された馬屋】



歴史まちづくりの取り組み(歩行者・自転車ネットワークの構築)



案内サイン

- ・見やすい地図
- ・多言語対応

誘導サイン

- ・多言語対応



観光パンフレット
との連携

レンタサイクル基地

- ・自転車によるまちなか周遊



歴史まちづくりの取り組み(産官学民の連携)



小江戸ひこね町屋活用コンソーシアム

彦根商工会議所

彦根異業種交流研究会・町屋活用委員会

NPO法人五環生活

湖東地域定住支援ネットワーク

彦根市

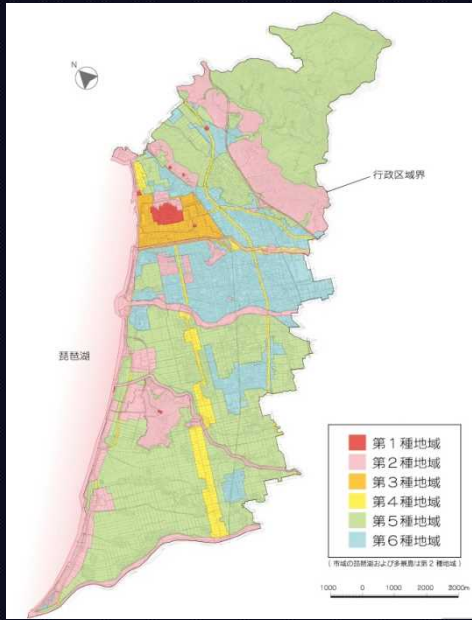
滋賀大学

滋賀県立大学

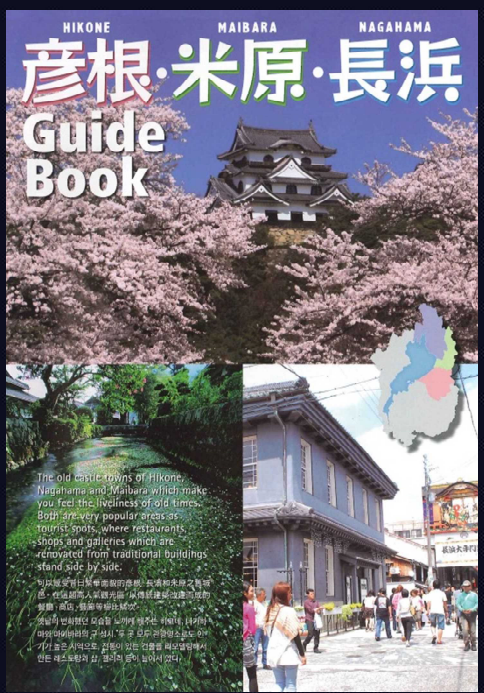
芹橋二丁目連合自治会「芹橋二丁目まちづくり懇話会」

屋外広告物の取り組み (彦根市屋外広告物条例)

広域的な観光の取り組み (びわ湖・近江路観光圏活性化協議会)



3市 (彦根市・長浜市・米原市)



平成27年7月に市独自の屋外広告物条例を施行。城下町など市内を6地区にエリアを区分し、良好な景観形成に向けた屋外広告物の誘導を始めています。

多言語パンフレット



「石田三成」による観光PR

今後に向けた課題

- 重点区域の城下町に残る歴史的なまちなみを構成している町屋などの歴史的な建物の空き家化および除却化の進行。
また、歴史的な建物の防災対策。
- 城下町における居住人口の減少と高齢化による、歴史的風致を維持継承する担い手の不足。
- 増加傾向である外国人観光客に対するおもてなし環境の充実。
- 駅や駐車場を起点にしたアクセスや移動環境の充実。



人口の推移